

平成 26 年 10 月吉日

各位

埼玉中央生コン協同組合
理事長 関根 睦



市況対策ご協力をお願い

拝啓 秋冷の候 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
平素は弊協同組合共販事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊協同組合は再開発事業・圏央道・共同住宅等の建設工事により、昨年度とほぼ同様の出荷数量を見込んでおりますが、都心部で築地市場移転に伴う豊洲新市場や東京オリンピック関連施設の建設等による旺盛な需要が見込まれる一方、弊協同組合エリアでは今後需要の減少が懸念されています。これに対し原材料費や燃料費等生コン原価を上げる要因については改善の目途が立たず、苦慮している次第です。

つきましては下記弊協同組合の抱える現状についてご理解いただき、引き続きより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 原材料ならびに輸送の現状について

- ① 骨材。昨年末から今年春まで続いた骨材の逼迫度は今のところ落ち着いておりますが、生産能力ならびに輸送能力の低下は未だ改善する見込みは無く、骨材逼迫による生コン会社への影響についても今後も継続することと思われまます。
- ② アジテータ車。弊協組におけるこの1年間の車両増率は101.8%であり、依然協組員保有車両のみでは間に合わず、相変わらずリース会社に頼らざるを得ません。また運転手も不足しており、新たな運転手の確保が困難な状況です。

2. 生コン価格について

骨材ほか諸経費のコストアップ分を補填すべく、昨年4月に続き本年4月に再度値上げを実施させていただきました。皆様のご理解・ご協力のおかげを持ちまして、生コン価格は確実に上がっております。しかしながら骨材業者からの値上げ交渉は依然段階的に行われており、燃料代ほか諸経費の値上げも予想され、生コン原価は今後も一層上昇傾向にあります。つきましては今後も生コン価格の更なる値上げについて、ご協力をお願いいたします。

3. 「物価版」「積算資料」表示価格について

建設物価調査会刊行「物価版」10月号にて弊協組エリアの表示価格が300円上がりましたが、弊協組では未だ現存する実勢価格との値差を解消すべくPRを実施していく所存です。登録販売店の皆様におかれましても、ご協力のほどよろしく願いいたします。

4. 今後について

今後も安定供給と適正価格の実現に邁進する所存ですので、ご理解・ご協力のほどよろしく願いいたします。

以上

骨材動向

業者動向

栃木県砕石工業組合

- ・生産量 15,397千t(H25) (前年比91.5%)
- ・ダンプ状況 栃木県内登録台数
H8 5,300台 ⇒ H25 2,600台 激減
更に減少傾向
積載量の遵守
- ・設備
老朽化⇒設備の更新⇒生産量確保・増産⇒設備投資
応急修繕⇒修繕費の増加
- ・要員
要員減⇒要員確保難
- ・資材

埼玉県山砕石協会

- ・生産量: 約4,100千t(H25)
今年度出荷量: 対前年比約105%で推移(4~8月)
二次製品向けの需要増
- ・ダンプ状況
運転手の高齢化⇒廃業、減車減少 激減
積載量の遵守
- ・設備
老朽化⇒設備の更新⇒生産量確保・増産⇒設備投資
応急修繕⇒修繕費の増加
- ・要員
従業員の高齢化⇒要員の確保難

需給動向

○二次製品向け需要の大幅な増加

- 外環工事向けセグメント等の製作
- オリンピック関連工事向け二次製品の製作

○東京地区の需要の増加

- 築地市場移転工事、オリンピック関連工事等の着工
回漕品の需給逼迫により骨材供給の構造の変化
⇒埼玉県内への供給状況の変化

○縫目砂の供給不安

価格動向

○平成26年4月から値上げ

- 要請金額の一部を受け入回答⇒4月より遡及値上げ

○平成26年下期からの値上げ要請

- 4月値上げ未達分の値上げ

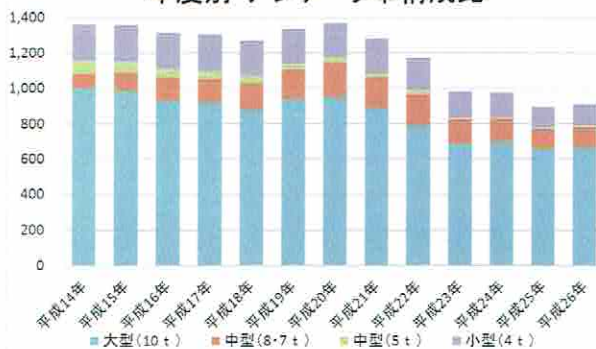
○平成27年4月からの更なる値上げ要請の動き

- 値上げ⇒修繕費、設備投資、要員の確保、輸送力の確保
- ダンプ積載量の遵守
- 軽油取引税免税措置の期限(H27.3)⇒期間延長の有無

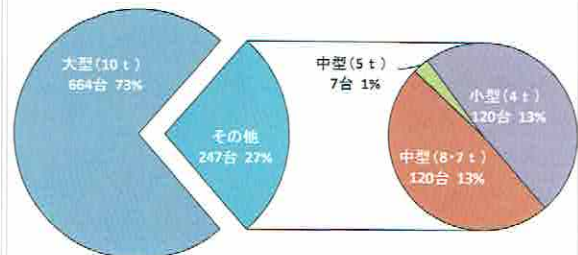
アジテータ車保有台数 及び 出荷実績



年度別 アジテータ車構成比



平成26年度アジテータ車構成比



- 過去12年の出荷実績は、平成18年度までは300万^mを維持してきたが平成18年度を境に急激に減少し平成22年度はピーク時のほぼ半分に落ち込んでいる。
平成22年度の170万^mを底に緩やかでは有るが右肩上がりに転じ今年度は200万^mを見込んでいる。
- アジテータ車の保有台数は出荷実績に連動し、平成18年以降の急激な下落の2年後から始まり昨年度までピーク時の2/3まで減少したが、今年度は、前年比 1.8% と微増ではあるが増車に転じている。
- アジテータ車の減車要因は、「生コンメーカーの廃業、統合」、「協組の脱退」などによるものと「リストラクチャリング」の影響が挙げられる。
生コンメーカーは、出荷数量の減少と価格の下落により「リストラクチャリング」を重ねてきた結果、アジテータ車は老朽化による自然減や出荷数量に見合う配車により減少してきた。
- アジテータ車の納車状況は現在非常に厳しく、昨年までの約一年から今年是一年以上と納車期間が延びている。
この状況は、都心の大型再開発や2020年「東京オリンピック」開催に向けての施設工事、インフラ整備、民間開発などの影響が表れてきたものと思われる。
- 納入改善のため引続きアジテータ車の増車が必要であるが、このような環境下では改善に時間を要す。

建設物価 生コン価格&セメント価格の推移 及び 協組出荷実績



積算資料 生コン価格&セメント価格の推移 及び 協組出荷実績



1 建設物価と積算資料の生コン価格の変化と出荷実績から見る傾向

- ① 両誌とも価格の設定は違うものの、同じような傾向で推移している。
- ② 両誌の生コン価格は、組合員外の価格も調査するため協組打出し価格と乖離がある。
- ③ 生コンの価格は、需給バランスで変化しやすく出荷数量の増減で大きく変動する傾向にある。
- ④ セメント価格と比較しても生コン価格は出荷数量に連動して変化するためセメント価格とは異なる軌跡を描いている。
- ⑤ 生コンの価格は、契約ベースのため市場価格が値上げと同時に連動しない。各メーカーは、旧価格のストック(工事期間の1年~2年)が有るため新価格の反映が遅れる。

2 上記の生コン価格の傾向を鑑みて今後の生コン価格の問題点と要望

- ① セメント・骨材等の値上げ、備車レンタル料の値上げ、燃料代、オリンピック特需の影響など値上げ要素が山積している。
- ② 当協組エリアは、オリンピック特需や大型プロジェクト等の工事情報も少なく、山積する値上り要請を出荷量と企業努力で補う事の出来ない状況である。
- ③ 現状の価格推移では直面する上記の値上げ要請の吸収も厳しく、価格の見直しは必至である。
- ④ 生コン業界の置かれている状況と契約ベースの商取引を理解いただき、建設業界の価格のパイロットである両誌には将来の動向を見据えた指標を示していただきたい。